

茶の湯における懷石の流れ 四

コ ラ ム

第一章 懐石は如何なるものなりや	九	一 天文期の懷石
第二章 如何にして懷石に至りしや	二七	二 武野紹鷗の献立 (『松屋会記』より) 二二
第三章 食器を論じる	四五	三 永禄期の懷石
第四章 飯と汁を論じる	六五	四 松永久秀の献立 (『松屋会記』より) 四一
第五章 向付と香物を論じる	八一	五 天正期の懷石
第六章 梶盛と吸物を論じる	九九	六 千利休の献立 (『神屋宗湛日記』「献立」より) 六一
第七章 焼物を論じる	二七	七 文禄慶長期の懷石
第八章 酒と八寸を論じる	一三五	八 古田織部の献立 (『神屋宗湛日記』「献立」より) 七八
第九章 菓子を論じる	一五一	九 寛永期の懷石
第十章 京料理と江戸料理	一七一	一〇 小堀遠州の献立 (『松屋会記』より) 九五
第十一章 近代の懷石	一八九	一一 天保期の懷石
懷石年表	二〇六	一二 近衛家熙の献立 (『槐記』より) 一一四
懷石難語辞典	二一〇	一三 天明期の懷石
あとがき	二一〇	一四 酒井宗雅の献立 (『逾好日記』より) 一三一
参考文献	二一八	一五 文化文政期の懷石
十一 昭和戦前期の懷石	一一〇三	一六 松平不昧の献立 (『不昧公園炉裏の茶事』より) 一四八
一二 益田鈍翁の献立 (『昭和茶道記』より)	一一〇五	一七 幕末の懷石
一三 玄々齋宗室の献立 (『鷹司家等茶会記』より)	一六七	一八 井上世外の献立 (『茶会漫録』より) 一八五